

No. 22

ね じ れ ば ね

January 1967

昭和42年1月30日 以行

編輯者： 後 藤 光 男

大阪府高石市高師浜2丁目4の4

電話 堺6局5374番

日本甲虫学会

神戸市東灘区御影町天神山46

新 入 会 員

426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452

453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467



住 所 变 更 (称呼变更を含む)

405
72
67
376
275
112
92
35
257
410
125
396
334
426
293
13
369
165
28



326
221
295
339
195
162
34
230
118
279
82
364
228
390
130
303
198
446
451
243
375
305
12
125
329
26
69
335
219
117
120
267

認定退会取消 (再入会)

133

申 告 退 会

404

395

昭 和 4 0 年 度 収 支 決 算 書

(自 昭 和 4 0 年 1 月 1 日)
(至 昭 和 4 0 年 1 2 月 3 1 日)

収 入 の 部		支 出 の 部	
会 費	216,295	印 刷 費	185,370
バックナンバー代	44,450	通 信 費	23,390
別 刷 代	8,500	消 耗 品 費	7,090
図 鑑 印 税	43,222	大 会 費	4,130
雑 収 入	39,448	幹 事 会 費	880
前 期 繰 越 金	185,980	雑 費	1,005
		次 期 繰 越 金	316,030
合 計	537,895	合 計	537,895

☆

☆

特 別 会 計

(会報発行基金)

昭和40.	1.	1.	前 期 繰 越 金	331,186
"	3.	26.	信託利益(39年9/26~40年3/25)	10,619
"	9.	26.	信託利益(40年3/26~40年9/25)	10,874
"	12.	31.	合 計	<u>352,679</u>

さき大林幹事の病気お見舞金のご拠出をお願い申上げましたところ、多数の会員諸氏からご賛同をいただき、ありがとうございました(別途ご報告のとおり)。大林幹事からお礼状が参つておりますので、ご披露申し上げます。



この度は思いもかけず本学会通じ先輩・知己はじめ多くの方々からまで多額のお見舞をお贈り頂き感激の至りです。誠に有難うございました。

発病以来3年余、手術を含めて入院を3回も繰り返しましたが、近代医学のお蔭で次第に快方に向つております。とても全治できる病気ではありませんが、余命のある限り好きな虫の勉強につとめることこそ皆様のご好意に報いることと思ひます。

誌上をかりまして心から厚くお礼申し上げます。

昭和41年9月

大 林 一 夫

短報をお寄せ下さい。

会報の埋め草用として短報をお送り下さい。生態・分布などの新知見をどしどしお寄せ下さい。

会費納入のお願い

お手許へお届けいたしました昆虫学評論、第18巻第2号で、大多数の会員は会費切れとなります。同封いたしました振替用紙で、第19巻分の会費750円を今すぐお納め下さい。

志賀製品のあつせん

志賀製品の取扱いを始めて多数のご利用をいただいておりますが、最初の頃より見ますと大変な値上りとなつており、今後も年毎に定価が改訂されるものと思われまふ。現在下記のものを取扱つておりますのでご利用下さい。

インロー型標本箱大型36×27cm(総桐製・厚コルク敷・一級品)	1箱	700円
" " 小型31.5×22cm(")	1箱	470円
シガ昆虫針(無頭ステンレス製)各号	100本1包	1包 80円
吸虫管(ゴム管付二重式)	1本	180円
ピンセット(ステンレス先尖)	1本	400円
平均台(小型)	1ヶ	120円
ルーペ(金属菱形繰出し)正10倍	1ヶ	850円
ポケット箱(総桐製)17×10cm	1箱	150円
" (")13×9cm	1箱	110円

ご利用ご希望の方は芝田太一氏宛(大阪市東区淡路町4-68・芝田ビル・電話:大阪231局8756番)又は後藤宛お申越下さい。

「あとがきにかえて」

諸般の事情により「昆虫学評論」第18巻第2号が大変遅くなりましたことを深くお詫び申し上げます。引続き第19巻第1号の印刷にかかつております。本誌も評論と歩調を一にしてお届けする建前でおりましたので、共に遅くなりました。この間会員諸氏よりいろいろとお問合せ等がまいつて大変ご迷惑をかけておりますので、今後は本誌と評論を切り離し随時発行してゆき度く存じます。評論と同封でお届けする場合がありますし、又本誌単独にてお届けする場合があります。このように早く会の現状についてお知らせする所存です。又現在のような会員異動が主になつていような「ねじればね」でなく、もつとバラエティーに富んだものにいたし度いと思つておりますので、短報・採集記録・季節の便り・交換等お気付のことがありましたらどんどんお知らせ下さい。 (G)